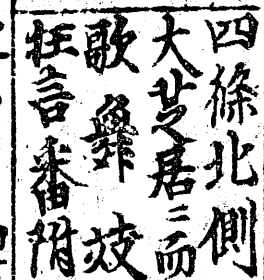


板元和泉屋又兵衛



代客

前ち父ちの唐もろこし土ど國くに性せい大だい席しき
言こと母ははの日本にっぽん國くに性せい大だい席しき
三さん版ばん目め

大序 枕巻殿の後岡小君を誅る 忠臣蔵

式口 半戸郷の濱辺 小夫を暴る 負女籠

其諸千里數の竹垣小卒を集る猛將纔

三白 向壁閣の樓門小父を労る 烈女鏡

其功
獅子^{しし}の^の後^ご堂^{どう}小^{せう}國^{こく}を^を壞^{くわい}了^{りょう}
智^ち將^{しょう}纔^{ざい}

切朝比奈藤共衛
狂言喧嘩屋五郎重南
五害入

壹
心弁橋子 須店小 靴い 五と 惣女 同士の 麗扇

戴新製所子寄場小角めと女房同士の箱扇

冬 浪花橋より濱側小磨を立ち建士同士の舞扇

四
天王寺に食家小町さふと夫婦同士の拾扇

五 増井氷石 斤較小 緩り血と血筋同士の 神扇

長長
奇奇
蜀蜀
三三
三三
金金
金金
金金
金金

三
線
竹
式
者
失

狂言作者

索
竹
政
助

津 線	福 線
作 隊	年 又
三 兵	烟 口
失 火	

狂言作者	索河政務
索河政務	助

後者留名附別爲中二所發